

公共交通のこと
考えてみませんか？



木津川市内公共交通を再編中



きづがわ

公共交通だより

発行日
平成23年
7月1日

vol.
35

木津川市では、市民の皆さまにとって使いやすく満足度の高い地域公共交通づくりに取り組んでいます。
今月号では、平成22年度のバスの収支の状況と、木津川台住宅バス停の変更、交通バリアフリー教室についてお知らせします。

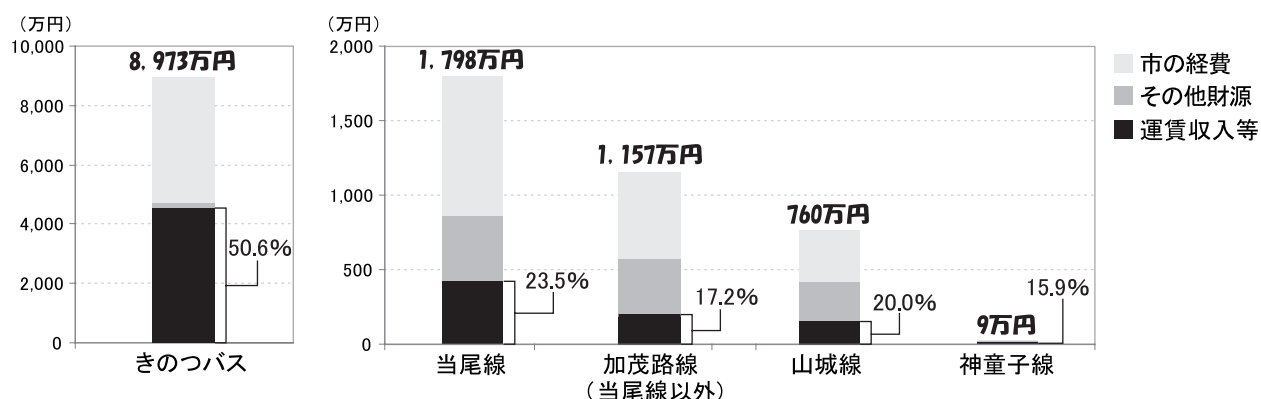
市が走らせているコミュニティバスのお金について



平成22年度のバスの収支についてお知らせします。

運行経費に対する運賃収入（運賃収入・その他収入の合計）の割合が最も高いのは、きのつバスで50.6%です。運賃改定により、昨年の32.8%から大幅に改善されています。

今後も、引き続き皆さまのご利用をお願いします。



現在、国の補助メニューなどを活用しながら、持続可能な運行を目指して取り組んでいるところですが、国の補助は今年度が最終年度となっています。

コミュニティバスは、皆さまに多く利用いただくことで、継続した運行が可能となります。引き続きのご利用をお願いします。

☆コミュニティバスのご利用をよろしくお願いします☆

7月1日から木津川台住宅バス停は降車のみとなります



7月1日（金）から木津川台住宅バス停は、バス操車場の移設に伴い、位置が変更になり降車のみのご利用となります。山田川方面のご利用については、木津川台八丁目バス停が始発となります。ご利用の際はご注意ください。なお、運行時刻について変更はありません。



裏面へつづきます

「交通バリアフリー教室」を開催しました



5月27日ＪＲ木津駅で「交通バリアフリー教室」を開催しました。このバリアフリー教室は、近畿運輸局が管内の鉄道駅や学校などで、各府県で毎年１回ずつ行っているものです。

今回は、平成15年12月に策定した木津町交通バリアフリー基本構想に基づき、平成19年3月に改築されたＪＲ木津駅と、その後、整備が行われたＪＲ木津駅東口周辺において、実際に、車いすや目の不自由な方、また高齢者の疑似体験・介助体験をしていただきました。



🔍 車いすを用いての利用体験
及び利用者の介助体験



🔍 アイマスクを使用しての疑似
体験及び介助体験



🔍 高齢者疑似体験装具を装着して
の疑似体験及び介助体験

今回のバリアフリー教室には、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域の助け合いの最前線でご活躍されている、木津川市民生児童委員協議会のご協力をいただき、委員の皆さまに参加いただきました。

車いすを使っておられる方にとっては、健常者と異なり、車いすに乗ったままでの切符購入やバス乗車をしなければなりません。今回のバリアフリー教室での車いすの乗車体験などを通じて、完全なバリアフリーを実現していくためには、日常生活の中で「お手伝いしましょうか」と、ごく自然に声をかけ、サポートができる「心のバリアフリー」が大切であることについて理解を深めました。木津川市民生児童委員協議会の皆さま、ありがとうございました。



奈良交通のご協力により、実際にノンステップバスを持ってきていただき、乗合バスの乗車体験をしました。

駅構内では、JR西日本のご協力により、きっぷ売場などの説明を聞きました。



木津川市社会福祉協議会の皆さまや、アドバイザーの方にご協力いただき、さまざまな疑似体験をしました。



心のバリアフリー
をひろげよう！

～皆さまありがとうございました～